

わがまち紹介川柳

土地もある

家もあるのに

人が減り

鳥取県鳥取市

鳥取駅周辺地区(第2期)

- ・鳥取市は鳥取県東部に位置し、鳥取砂丘が有名な都市。
- ・平成17年10月に市町村合併し、1市8町村となった。その後、平成30年4月より中核市に移行した。
- ・人口社会減が課題であり、中心市街地を中心に、空き家、空き店舗が増加している。
- ・人口減少や高齢化社会に対応し、公共交通を要とした、まちづくりを目指す必要がある。

状況写真



- ・鳥取駅北口から市街地をみたところ。第1期計画で、駅前に開閉式の大屋根と芝生広場のある空間「バード・ハット」を整備しています。
- ・商店街は空き店舗が増加しており、対策が必要です。



- ・鳥取駅南口から市街地をみたところ。第2期計画で、市役所新庁舎との複合施設である「地域交流センター」等を整備しています。
- ・今まで分断されていた、駅南口と北口をリンクさせるような、仕掛けづくりが今後の課題です。



- ・毎年4千人を超える踊り子が一斉に踊る「鳥取しゃんしゃん祭り」。
- ・2014年にギネス世界記録認定された、世界最大級の傘踊り。
- ・既存のハード整備と併せて、地域資源の利活用を進めていく必要があります。

わがまち紹介川柳

コンパクト
人が集まる
オアシス都市

鳥取県境港市 さかなと鬼太郎の街

- ・三方を海に囲まれた風光明媚な空間
- ・マグロ・カニに代表される水産物の宝庫
- ・国際クルーズ船の寄港地であり、国際空港も立地するインバウンド観光の拠点
- ・陸・海・空の3つの港が存在するランドポールであり、交通結節点である
- ・高齢化は進み、少子化に歯止めがかからない
- ・住みやすい街と環境を生かした定住対策が必要
- ・観光という新たな産業に期待

状況写真

境港市は、鳥取県の西北部、弓浜半島の北端に位置します
 三方が海に開け、特に白砂青松の続く弓ヶ浜は、東南にそびえる伯耆富士「大山」を背景に、風光明媚な景観を呈しており、「日本の白砂青松百選」や「日本の渚百選」にも選ばれています



島根半島が天然の防波堤の役割を果たす自然条件に恵まれ、天然の良港として、古くから港を中心に発展してきました

現在でも環日本海時代の西の交流拠点を目指したまちづくりを進めています

境港市の概要

面積	29.02km ²
人口	34,547人 (平成29年4月1日)
世帯数	15,091世帯

鳥取県境港市
面積:29.02km² 大山開山1300年祭

**3方の水域と3つの港
ランドポート**

国際クルーズ船寄港地拡大
水揚げ高200歳
高規格生鮮水産物流通拠点
水木しげるロードリニューアル
JR山陰ディズニーケーションキャンペーン

米子市
境港市
松江市

国際貨客船ターミナル建設
市民交流センター(仮称)建設
水木しげるロード25周年
水木しげる記念館15周年

写真提供 境港市・空港整備事務所

照明デザインコンセプト

妖怪たちのナイトミュージアム

最新鋭の照明制御技術を採用し、「新装」演出「色」演出「音」演出による「夜の妖怪」を再現し、他に類のないLED照明ディライトアップを中心とした照明空間を演出する。水木ワールドのさらなる発展と国内外の来訪者を誘引するアンダーグラウンドの街づくりをめざす。

あかりでつくる観光まちづくり

「あかり」がもたらす「夜の妖怪」を再現し、他に類のないLED照明ディライトアップを中心とした照明空間を演出する。水木ワールドのさらなる発展と国内外の来訪者を誘引するアンダーグラウンドの街づくりをめざす。

陸 陸 海 空

国内航へつむぐ海と空の道

潜在性から実経済へ

泊 HOTEL DONRYU INN
食 食
遊 遊

妖怪
ナイトストリート

妖怪の夜から始まる100%

わがまち紹介川柳

神だより

目指すは

しまね独り立ち

島根県

- ・ 島根県の人口約68万人のうち、約80%にあたる約54万人が都市計画区域内に居住
- ・ 県内の市町村は平成の大合併を経て、平成23年10月から8市10町1村
- ・ 旧国名は出雲国・石見国・隠岐国であり、現在でも出雲地方・石見地方・隠岐地方の3つの地域に区分されることが多い
- ・ 全国に先駆けて少子・高齢化社会に突入
- ・ 人口減少・超高齢化社会にふさわしいコンパクトな都市を目指す必要がある

状況写真



城山北公園線（松江市）は市街地における幹線道路ネットワークの一部として、市街地交通の円滑化に寄与しています。



神門通り線（出雲市）は、出雲大社参詣道に相応しい地域特性を活かした街並みを形成し、連日観光客で賑わう通りへと再生しました。



安来市では都市防災事業により市役所横に防災公園が整備されるなど、防災まちづくりが進められています。

わがまち紹介川柳

国宝の

天守見上げる

水の都

島根県松江市

白潟地区

- ・ 国宝松江城の周囲に中心市街地が広がる城下町
- ・ 中心市街地には松江城を囲む堀川のほか、中心を貫流する大橋川や宍道湖など豊かな水環境が広がる
- ・ 大橋川の北(橋北)は松江城を中心に、南(橋南)はJR松江駅を中心に賑わいを感じられる
- ・ 松江城とJR松江駅の間エリアで高齢化が進み、空き家増加によりまちの魅力が低下
- ・ 水辺や遊休不動産を活用し、まちづくりのプレイヤーを育成しながらエリア内に活気を創出したい

状況写真



宍道湖(下)と中海(上)を結ぶ大橋川が中心市街地を貫流しており、大橋川周囲は、北側(左)に松江城、南側(右)にJR松江駅がある



水面が近いことが特徴の大橋川沿いに旧城下町があり、いくつもの商店街が隣接する



大橋川南側(白潟地区)の商店街周辺で特に空き家増加し、エリアの魅力が低下している

わがまち紹介川柳

駅前 の 区画整理に 再挑戦

島根県大田市

大田市駅前周辺地区

- ・大田市は「世界遺産」と「国立公園」があり、歴史・文化、自然など多彩な地域資源に恵まれたまち
- ・人口減少、少子高齢化が課題、島根県内8市で最高の高齢化率
- ・市街地も含め、空家、空地、空店舗が多い。特に昨年4月の地震後さらに空家が増加
- ・駅前周辺の中心市街地は、商業機能の低下、スポンジ化で再生急務
- ・市街地にひとや施設を集め、にぎわいのあるまちにする取組が必要

状況写真



駅前通りから大田市駅方面を見たところ。商業機能が低下し、空店舗が増加。普段から人通りも少ない状況。



市役所屋上から大田市駅方面の市街地をみた景色です。郊外に大型商業施設進出以降、市街地の衰退が特に進行しています。



毎年、春と秋の彼岸の中日に催される彼岸市「中日つあん」。多くの人出で賑わう伝統行事です。魅力的でにぎわいのあるまちを目指します。

わがまち紹介川柳

荒れ狂う中国太郎 江の川
狂いはしないが
荒れ果て中心市街地よ
人麻呂君とよきみ姫

島根県江津市

江津地区

- ・ 江津市は島根県の中央部にあり、前は海、後ろは山に挟まれた狭いまち
- ・ 駅前には公共公益施設パレットごうつ（通称）があり、そこで中高生が勉学に励んでいる
- ・ 公共公益施設ができたものの、周りは依然として空き家、空き地が点在している
- ・ 多様な世代へ、快適な都市生活を営むに必要な住宅を供給し、居住を誘導することによって都市のコンパクト化を進めていく

状況写真



江津駅前に公共公益施設 通称：パレット・ごうつ が整備されています。



地区西側には公共施設等や公園が一体となったシビックセンターが整備されています。



整備した公共公益施設（通称：パレットごうつ）の対面にある商店街沿いは空き地・空き家が点在しています。

わがまち紹介川柳

幸多し

幸運なんです

雲南です

島根県雲南市 三刀屋木次IC周辺地区

- ・雲南市は島根県の総面積の8.3%を占め、その大半が林野で、中山間地域に位置している
- ・中国横断自動車道の三刀屋木次ICに隣接し、商業施設の集積を誘導する可能性が高い区域
- ・H25商勢圏実態調査で、隣接する松江市、出雲市に消費総額の約4割が流出する危機的状況
- ・道路、広場整備による中心市街地の利便性と回遊性の向上
- ・ホテル、商業施設整備、イベント開催による交流人口拡大、賑わい創出、集客性向上

状況写真



上空から当該地区を見たところ。本地区を中心とした中心市街地エリアの賑わい再生が喫緊の課題です。中心市街地活性化基本計画に基づき、道路、広場、公共交通等の都市基盤施設の充実を図り、民間による商業施設整備、ホテル整備と協働することで、賑わいと魅力あふれる市の顔を実現したい。



中心市街地エリアで開催される「まめなカー市」。軽トラックに農産加工品等さまざまな品物を乗せ、買い物を楽しんでもらうイベント。平成21年から市内各地で開催され、市内外から多くの来訪者が訪れるイベントです。まめなか=元気か？出雲地方のゆるゆる言葉。



中心市街地活性化事業において、民間事業者により整備された商業貸店舗。テナント6店により、令和元年7月14日オープンを迎える。うんなんの地域資源を活用した商品等を提供する。その他、2020年のオープンを目指すビジネスホテルの建設等、まちの魅力及び集客力向上が期待されています。

わがまち紹介川柳

古き良き

景観守る

城下町

島根県津和野町

津和野城下町地区

- ・津和野町は山間の小規模な盆地や平地、斜面地に街や集落を築いてきた地域
- ・日本遺産に認定された津和野百景図に描かれた風景やお祭りが今も残っている
- ・観光客減、人口減が課題、空き家空き店舗も多い
- ・観光イメージの向上、都市と田舎の交流人口の増大を図る取り組みが必要

状況写真



城下町地区の航空写真。山のやや左に津和野があり、城下町の街並み横切るように津和野川があります。



JR新山口駅⇄JR津和野駅間を運行しているSL「やまぐち」号です。重要な観光資源のひとつです。

お盆に行われる津和野踊



わがまち紹介川柳

魅力拠点

歴史育む

まちづくり

岡山県

- ・倉敷市
中心市街地活性化
基本計画新計画地区
- ・津山市
津山市まちづくり
パワーアップ地区
- ・矢掛町
やかげ宿地区

- ・各地区独自の歴史的町並み、文化の伝承を大事に守って発展させるまちづくり
- ・魅力的な拠点を生み出すまちづくり
- ・地区の回遊性向上を図るまちづくり

状況写真

【倉敷市】

- ①美観地区電線類地中化による町並みの向上
- ②古民家（旧商店）を交流空間・回遊拠点として再生活用



【津山市】

- ①魅力発信・交流空間・回遊拠点としてにぎわい交流館を整備
- ②建築的価値の高い文化センターを大規模改修し文化継承の場を整備



【矢掛町】

- ①宿場町の歴史的町並み空間の高質化（舗装、街路灯）※関連事業：無電柱化
- ②老朽化したポケットパークの再整備、イベント広場整備による回遊性向上



わがまち紹介川柳

晴れの国

みんなが楽しむ

まち歩き

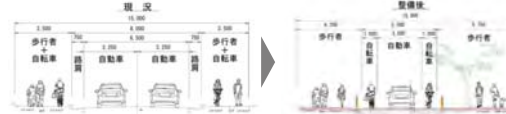
岡山県岡山市 岡山駅東口地区

- ・ 商業・業務・集客施設が集積
- ・ 2つの賑わいの核「岡山駅周辺エリア」と「旧城下町エリア」
- ・ 核を結ぶ「県庁通り」や水と緑が豊かな「西川」でもまちづくり
- ・ それぞれのエリアで民間プレイヤーが活躍
- ・ 人口は増加傾向であるが、低未利用地（特に駐車場）が多くスポンジ化と車社会が進む
- ・ 道路や公園といった公共空間を活用した賑わいづくりの実践

状況写真

県庁通り

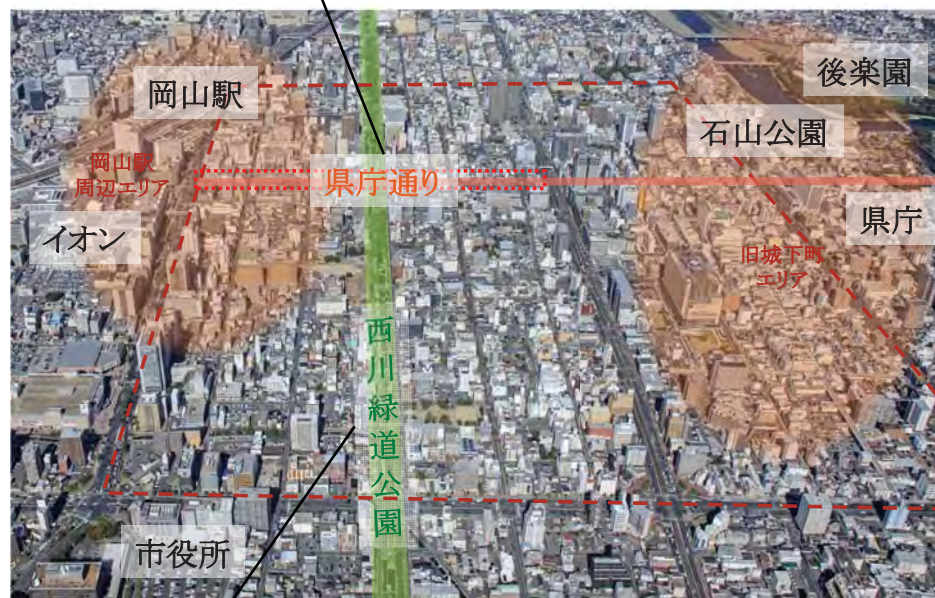
中心市街地の2つの賑わいの核を結ぶ『県庁通り』において、「車中心から人優先の歩いて楽しいまちづくり」を目指して、道路空間の再構築および、官民連携による魅力づくりを進める。



現状2車線一方通行の道路を1車線化し、歩道の拡幅及び自転車通行帯を設け、安全で快適な、歩いて楽しい道路空間を創出。



拡幅した歩道空間や沿道の低未利用地を効果的に活用するため、沿道事業者等と一緒に実験的に活用し、仕組み等を検討することや、県庁通りの将来ビジョンを話し合う会議を実施。



西川緑道公園

豊かな水と緑を活かして官民連携による賑わい作りを実践。一定のルールのもとで、民間団体が公園を活用。



満月BAR

満月の夜に現れる野外BAR。周辺の飲食店から料理を運び、多くの方が料理やお酒、音楽を楽しむ。



ホコテン！

公園沿いの市道を歩行者天国化し、公園と一体的に活用し賑わい創出。沿道事業者等からなる組織が運営。

中心部における駐車場



街なか駐車場が多く存在し、魅力や賑わい低下の原因の一つとなっている。

わがまち紹介川柳

水と緑の

歩いて楽しむ

晴れの国

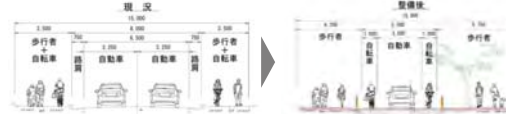
岡山県岡山市 岡山駅東口地区

- ・ 商業・業務・集客施設が集積
- ・ 2つの賑わいの核「岡山駅周辺エリア」と「旧城下町エリア」
- ・ 核を結ぶ「県庁通り」や水と緑が豊かな「西川」でもまちづくり
- ・ それぞれのエリアで民間プレイヤーが活躍
- ・ 人口は増加傾向であるが、低未利用地（特に駐車場）が多くスポンジ化と車社会が進む
- ・ 道路や公園といった公共空間を活用した賑わいづくりの実践

状況写真

県庁通り

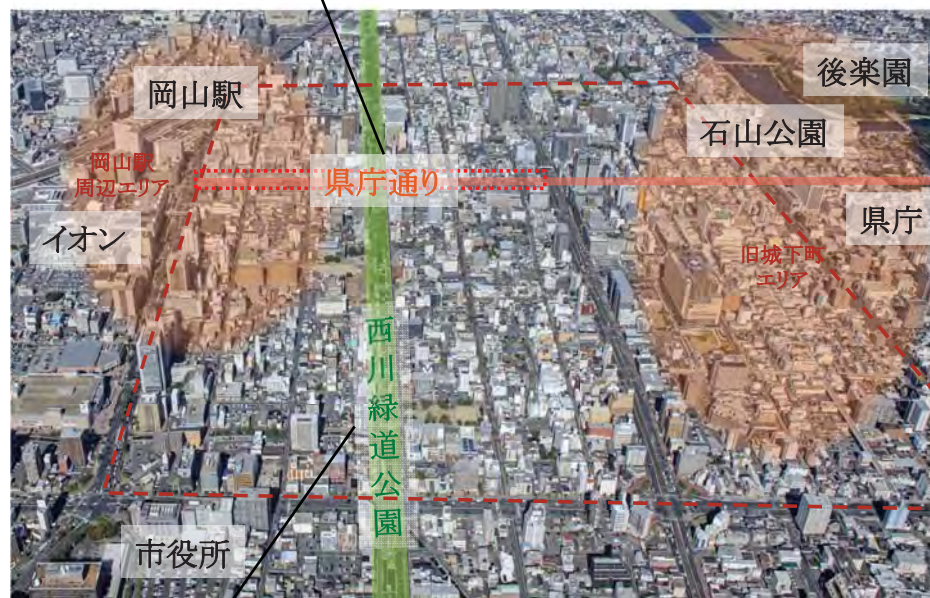
中心市街地の2つの賑わいの核を結ぶ『県庁通り』において、「車中心から人優先の歩いて楽しいまちづくり」を目指して、道路空間の再構築および、官民連携による魅力づくりを進める。



現状2車線一方通行の道路を1車線化し、歩道の拡幅及び自転車通行帯を設け、安全で快適な、歩いて楽しい道路空間を創出。



拡幅した歩道空間や沿道の低未利用地を効果的に活用するため、沿道事業者等と一緒に実験的に活用し、仕組み等を検討することや、県庁通りの将来ビジョンを話し合う会議を実施。



西川緑道公園

豊かな水と緑を活かして官民連携による賑わい作りを実践。一定のルールのもとで、民間団体が公園を活用。



満月BAR
満月の夜に現れる野外BAR。周辺の飲食店から料理を運び、多くの方が料理やお酒、音楽を楽しむ。



ホコテン!
公園沿いの市道を歩行者天国化し、公園と一体的に活用し賑わい創出。沿道事業者等からなる組織が運営。

中心部における駐車場



街なかには駐車場が多く存在し、魅力や賑わい低下の原因の一つとなっている。

わがまち紹介川柳

白壁のまち

暮らしと歴史が

調和する

岡山県倉敷市

倉敷市中心市街地

- ・江戸時代からの伝統を引き継ぐ美しい町並みが残る倉敷美観地区
- ・大原美術館や倉敷民藝館などの歴史的・文化的資源が豊富にある
- ・官公庁、病院、文化施設などが集まっている
- ・住民が地域に誇りを持っている
- ・伝統文化を活かし、まちの魅力を向上させる
- ・歩いて楽しい、暮らしやすいまちを形成する
- ・まちなかに人を誘導し、交流を促進させる

状況写真



【JR倉敷駅周辺】
JR倉敷駅を中心に、駅南には倉敷美観地区、駅北には倉敷みらい公園と大規模複合型商業施設で構成される都市空間が広がっています。



【倉敷美観地区】
白壁の土蔵のなまこ壁に、軒を連ねる格子窓の町家や柳並木など、伝統的な美しい町並みが続いています。年間約350万人が訪れる観光地です。



【中心市街地みらいの灯りプロジェクト】
毎年11月～2月中旬にかけて、倉敷みらい公園～JR倉敷駅北ペデストリアンデッキ～JR倉敷駅南デッキにおいてイルミネーション実施。
駅南北にまたがっている中心市街地の回遊促進と更なる賑わいの創出を図っています。

わがまち紹介川柳

魅力ある

まちなみ残る

城下町

広島県庄原市東城町 街道東城路周辺地区

- ・歴史的な建造物が多種多様に残された印象深い城下町。
- ・空き家・空き店舗が増加し、店舗間の統一感や道路空間など魅力が十分に発揮されていない。
- ・まちづくりの基本方針となるコンセプトを関係者によるWSを経て設定。
- ・まちづくり協議会を設立し、コンセプトに基づき、ハード・ソフト両面の整備を進めている。
- ・交流と賑わいが生まれる環境の創出を目指し、まちづくり活動に取り組まれている。

状況写真



【東城の街並み】

東城は、備後北部の経済的かつ政治的な要衝であり、武家地（家老屋敷）と町家からなる城下町が形成され、街割などは今に継承されています。今日では、往時（近世）の建物は限定されますが、江戸、明治、大正、昭和の歴史的な建造物が多種多様に残され、印象深い街並みを醸し出しています。



【三楽荘】

三楽荘（旧保澤家住宅）は、明治期の町屋で、東城のまちなみ景観を代表する建物の一つです。建てられた当初は呉服反物商・醤油醸造業を生業としていましたが、戦後に旅館業に転じ、以後60年間旅館「三楽荘」として親しまれました。現在は、庄原市が寄贈を受け、東城の歴史と文化を伝える施設となっています。主屋のほか、離れ、土蔵及び門・塀が揃って現存しており、国の登録有形文化財に指定されています。



【ヤマモトロックマシン東城工場】

東城のシンボリックな建物の一つで、削岩機などを製造するメーカーの工場。これらは昭和7～13年に建てられた木造の建物で、中心となる建屋は工場でありながらヨーロッパの教会を連想させる凝ったデザインになっており、国の登録有形文化財に指定されています。

わがまち紹介川柳

歴史ある

良くも悪くも

古い町

広島県竹原市 竹原中心市街地

- ・伝建地区内の建物のリノベーションやイベントなどにより、観光客を誘客
- ・土地区画整理事業により、生活サービス施設や子育て世帯が集まりつつある。
- ・駅前商店街で空き店舗・青空駐車場などが増加し空洞化が進展
- ・市役所や市民館など、築50年以上の老朽化した公共施設の再編
- ・伝建地区を訪れる観光客と地域住民、地域商業者などの交流が盛んになってもらいたい

状況写真



伝建地区では、年間を通じて多くのイベントが開催され、多くの観光客が訪れています。近年は、外国人も増えてきました。



竹原駅前の商店街の様子です。空き店舗や青空駐車場が増えて、人通りが少なく、賑わいが失われています。



市役所は築50年を越えて老朽化・耐震性に課題があります。市民ホールや図書館などの再編とあわせて、中心部の活性化に取り組む必要があります。

わがまち紹介川柳

状況写真

広島県三原市 三原駅・三原内港周辺地区

- ・ 小早川隆景が築いた城下町、企業城下町
- ・ 新幹線駅から港まで300m
- ・ コンパクトな市街地に商業・業務機能、行政機能が集積
- ・ 企業の衰退とともに市街地のにぎわいが喪失
- ・ 人口減少、高齢化が進む（H22:100千人→H52:72千人）なか都市機能の維持が課題
- ・ 50年後の築城500年をめざし市中心部のグランドデザインを市民と共有
- ・ 水辺や港、歴史・文化を活かした生活都市を目指す

笑顔咲く

瀬戸の暮らしに

ふれるまち

やっちゃんマン



三原駅と三原内港の間に位置する市有地にPPPにより整備が進む新たな交流拠点。
(図：駅前東館跡地活用事業)



近年、千本桜の佐木島や大久野島への旅行客も増えている三原内港。にぎわい創出へさらなる活用が期待されています。
(写真：三原内港)



本町西国街道地区では、城下町の歴史、文化を活かした魅力あるまちなみづくりに市民とともに取り組んでいます。
(写真：お寺の学校)

わがまち紹介川柳

歩くほど

味わい深い

まちなみだ

広島県尾道市

尾道駅～市街地

- ・新尾道駅舎の完成により新たな観光スポットの誕生
- ・斜面地や商店街の市街地にリノベーションによる魅力的な店舗が増加
- ・歴史的風致維持向上計画に基づく歴史まちづくりの推進
- ・空き家・空き店舗の老朽化の進行
- ・ランダムに空き地が発生している
- ・高齢化が進んでいる

状況写真



平成31年3月に開業した新拠点となる新尾道駅舎。背後の斜面市街地特有のまちなみである瓦葺形態の屋根とし、まちなみ景観との調和を図っています。



before



after

平成29年度に空き店舗活用支援事業補助金を活用して新たに出店。（カフェとパン屋が同時出店）
このような空き家・空き店舗を活用したリノベーションが盛んです。



商店街の空き店舗が除却され、駐車場となった写真。市街地内の空き家・空き店舗が除却され、ランダムに空き地化・駐車場化されている現状があります。

わがまち紹介川柳

まち再生

まずは自分を

リノベーション

広島県福山市

福山駅周辺地区

- ・ 新幹線を降りたらすぐに福山城。2022年に築城400年を迎える
- ・ 空き店舗、空き家の増加
- ・ 賑わいや魅力の再生に向けた「駅前再生ビジョン」を策定
- ・ 中心市街地の低未利用不動産及び公共空間を活用した、リノベーションまちづくりからエリアの価値の向上
- ・ 福山駅周辺を訪れる人の回遊性の向上と賑わいの創出

状況写真



鉄鋼・デニム産業などオンリーワン・ナンバーワン企業が多く、日本一新幹線駅から近い“福山城”や鞆の浦など歴史・文化資源が豊富で、備後圏域の経済・文化の中心



まちを変える原動力となる人材の発掘・育成に向けたリノベーションスクール@福山の開催



福山駅前再生の一環で官民連携によるにぎわい創出に向け、今後の公園の新たな使い方を検討するため、中央公園でPark-PFIの実証実験を行っています。

わがまち紹介川柳

若者と

ミライ育む

学生街

広島県東広島市 西高屋駅周辺地区

- ・ 東広島市は、豊かな自然環境及び住環境、教育・研究機関が調和する学園都市
- ・ 県立中高一貫校や大学があり、学生の多い町
- ・ ニュータウンがあり広島都市圏へのベッドタウンになっている
- ・ 駅のバリアフリー改善及び交通結節点としての機能の充実が求められている。
- ・ 駅周辺に学生や通勤客が多いのにまちなかに滞在できる施設がない。

状況写真



西高屋駅周辺には近畿大学工学部・附属中高一貫校、広島県立広島中高一貫校があり、教育・研究機関の施設が整備されています。また、広島都市圏へのベッドタウンとなっており、住環境が整備されています。



駅のラッシュ時の状況。多くの学生が通学してきます。



駅から少し離れた市街地には、ハローズやマックスバリュース等の郊外型大型スーパーが出店しています。



駅周辺の中心市街地は、通勤客用の駐車場が多く都市のスポンジ化が進んでいます。

わがまち紹介川柳

住民の

安心担う

拠点地区

広島県廿日市市

地御前地区

(地域医療拠点等整備地区)

- ・廿日市市瀬戸内海から西中国山地へと広がる雄大な自然に恵まれたまちである。
- ・本地区には、市において医療の中核をなす「JA広島総合病院」が位置している。
- ・「JA広島総合病院」に隣接する商業施設の閉店により、跡地を含めて、地域医療拠点等を整備することとした。
- ・病院の拡張整備にあわせ、官民複合施設を整備し、医療・福祉・まちづくりを連携させる拠点整備を行う。

状況写真

本市は、瀬戸内海から西中国山地へと広がる雄大な自然に恵まれたまちです。



また、沿岸部・内陸部・山間部・島しょ部から構成される多様な地域資源を有していることから「日本の縮図」「広島県の縮図」と例えられます。



宮島サービスエリアから、宮島を見たところ。ふっと風がやんで波がなくなり、海面が静かになる状態を「凪(なぎ)」といい、山に囲まれて弱い風が吹く瀬戸内海では、この凪が長くはっきりと現れます。そんな優しい海に面したエリアで、廿日市市が他の瀬戸内地域と違うのは、日本三景・世界遺産の島、宮島があるということです。



「JA広島総合病院」から東側の見たところ。街と言い切るにはおこがましいのかもということで「ぎりぎり」街。それでも、廿日市市役所を中心とした都市機能の中核エリア「シビックコア地区」に「ゆめタウンはつかいち」が整備されています(右奥)。写真の範囲は、都市拠点地区であるシビックコア周辺地区として位置づけられています。



本市において医療の中核をなす「JA広島総合病院」。平成26年10月に隣接するイオン廿日市店(左上)の閉店に伴い、市・JA広島総合病院、病院の運営母体である「JA広島厚生連」の3者で地域医療拠点等を整備していくこととしました。

広島県 廿日市市

わがまち紹介川柳

人とひと

まじわり織りなす

街の顔

広島県廿日市市

大野筏津地区

- ・廿日市市は海から山までとても広い街です。
- ・広島市のベッドタウンとして成長した廿日市市は、沿岸部に集中して人々が住んでいます。
- ・これとは逆に、中山間部では人口減少が顕著で、生活を維持していくためには街のコンパクト化が課題です。

状況写真



ベッドタウンの象徴



お馴染みの宮島の春



吉和の風景

わがまち紹介川柳

まちのになわ

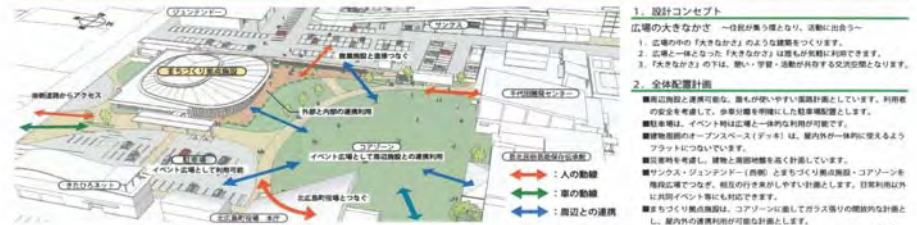
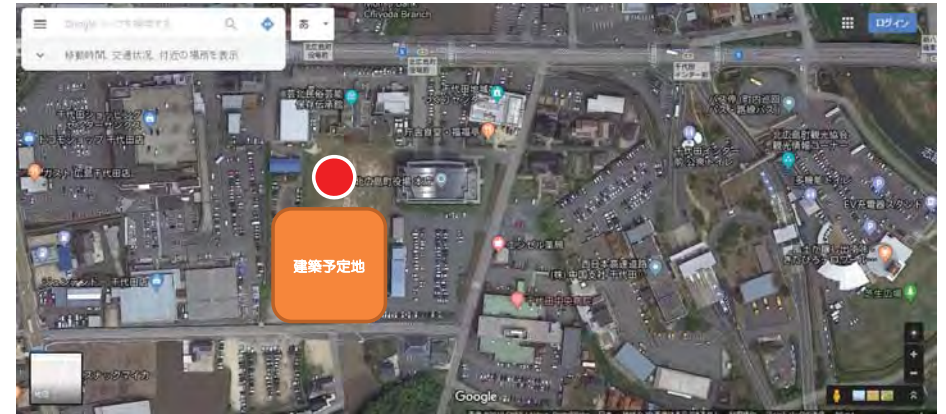
自分サイズのの

憩いの場

北広島町 役場周辺整備

- ・老朽化した公民館の建て替えに伴い、将来のありたい姿からエリアの担うべき役割を整理し、都市再生整備構想を策定した
- ・新築建物の前面に接する芝生広場を「コアゾーン」と位置づけた
- ・『コアゾーン』は誰もが気軽に訪れるパブリックスペース「まちのになわ」である
- ・『まちのになわ』をまちの中心核と位置づけ、周辺と連携により多彩な活動・交流等を生み出す

状況写真



【上空写真】

コアゾーン（芝生広場）を核に東側には交通の結末点である高速ICおよびバスストップ、観光拠点である道の駅、西側にはショッピングセンター、北側には文化伝承施設等がある。まちづくり拠点はコアゾーンの南側に新築する。

また、付近には行政施設や医療施設もあり、コンパクトに集約するとともに生活導線も考慮する。

【完成予想図】

まちづくり拠点施設とコアゾーン（芝生広場）と一体利用することで、活動が屋内から屋外へ広がるとともに、さまざまなアクティビティから新たな交流が生まれ、公共空間の活用と周辺施設との官民連携による賑わいを創出する。

わがまち紹介川柳

住みよい

こぢんまり

防府

山口県防府市 防府天満宮~駅地区

- ・防府市は、瀬戸内海に面し、防府天満宮のあるまち
- ・気候は温暖、県央に位置し、交通の便も良い
- ・活に必要な機能がコンパクトに集まる
- ・塩田跡地に自動車組み立て工場がある産業都市
- ・人口社会減が課題、空地空き家空き店舗も多い
- ・まちなか居住、人が集まる仕組みづくりが課題

状況写真



市街地の北側にある防府天満宮の春風楼から駅方面市街地をみたところ。イオン、ゆめタウン、イオンタウンが商業の核となっており、中心部の商店は衰退しています。



日本三天神の防府天満宮。毎年11月第四土曜日は御神幸祭 裸坊祭（ごじんこうさいはだかぼうまつり）でにぎわいます。



自動車組み立て工場を中心とする産業の街でもあります。

わがまち紹介川柳

状況写真

山口県 宇部市 中央町地区

- ・「SDGs未来都市」に選定
- ・スマートウェルネスシティを推進
- ・市制施行100周年にあわせ、本庁舎建設
- ・花と緑と彫刻のまちづくりを継承し、ガーデンシティを推進
- ・「共生社会ホストタウン」に、全国で初めて登録
- ・グローバル500賞受賞
- ・常盤湖が世界かんがい施設遺産に登録



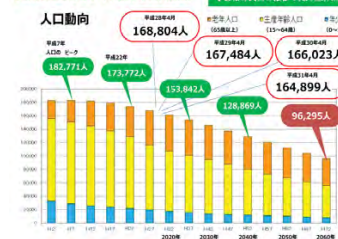
コンテナの

YCCUが

ひとをよび



宇部市人口ビジョン(平成27年10月時点) 宇部市の人口の推移(40歳未満人口)



「にぎわいエコまち計画」に基づく都市基盤の整備



山口県 山口市

わがまち紹介川柳

ほろ酔いで
維新をたどる
湯の香まち

山口県山口市

湯田温泉地区

- ・湯田温泉は、山口県下最大の宿泊地
- ・山口県の玄関口である新山口駅や山口宇部空港から近く、多くの方に利用されている
- ・一方で、都市型の温泉地であることから、温泉情緒が感じられにくい
- ・街なかの温泉地にふさわしい雰囲気づくり、魅力ある路地の再生と動線の確保が必要
- ・回遊性を高めるための動線をつなぐ道路整備、景観整備、広場整備のほか、魅力を伝えるための情報発信などを行い、にぎわいの向上を図っている

状況写真



その昔、けがをした白狐が傷をいやしていたという「白狐伝説」が伝わる湯田温泉。1日に2000トンのお湯がこんこんと湧いています。アルカリ性単純温泉で、肌にやわらかいお湯は美肌効果があるそうです。そんな豊かな温泉が街中にあるのが湯田温泉の特徴。



公共の宿から観光旅館、リーズナブルなビジネスホテルまでいろいろなタイプの宿が約30軒あります。各旅館やホテルも温泉を楽しめるところが多く、泊まらなくても温泉だけ利用できる立ち寄り湯も、もっと気軽な足湯もおすすめです。



湯田温泉界隈も維新の志士や詩人・中原中也にまつわるスポットが点在しているのでぜひ散策を。

わがまち紹介川柳

見直しで

新たに創造

南地区

山口県 岩国市 南岩国駅前地区

- ・ 土地区画整理事業が昭和29年に都市計画決定されるが長期未着手
- ・ 計画的な整備が行なわれず、道路や公園等の都市基盤整備が不十分
- ・ 若い世代の居住者は多いが、単身世帯、借家が多く、居住期間が短い
- ・ 商業施設、福祉施設などを充実し、まちなか居住を推進する
- ・ 周辺地域の生活拠点としての交通結節機能の強化が必要

状況写真



南岩国駅を見たところ。駅のバリアフリー化事業に合わせ、国道と高低差が2.4mある駅前広場を整備し、交通結節機能の強化を予定しています。



国道から南岩国駅方面を見たところ。駅前広場の整備に伴い、国道と国道に対して鋭角に接道する市道の改良を予定しています。



地区内の主要生活道路を見たところ。道幅が狭く、歩道がないため、歩行者と自動車が交錯している。住民や地権者と意見交換を行い、改良を予定しています。

わがまち紹介川柳

瀬戸内の

ゆたかな自然と

暮らすまち

山口県柳井市 柳井駅周辺地区

- ・ 柳井市は瀬戸内に面した穏やかな気候が特徴の町
- ・ かつては、商都や水上交通の要衝として栄え、観光名所である白壁通りは当時の面影を残す
- ・ 日常生活に必要な病院、スーパーがコンパクトに配置され、周辺市町からの通院、買い物客も多い
- ・ 空き家が増加し、用途地域内に低未利用地が点在する
- ・ 人口減少を抑制するために、安全で安心して暮らせる環境の整備が必要

状況写真



周防大島町方面から柳井市をみたところ。豊かな自然に溢れる一方、生活に必要なスーパーなどの進出も多く、生活するには快適な環境です。



柳井市の観光名所である白壁通りです。江戸時代からの建物が残り、7月から8月にかけては、地域の夏の風物詩である金魚ちょうちんが華を添えます。



海に面した柳井市では、俄まつり(写真左)や阿月神明祭(写真右)など、浜辺での祭りも多く、観光客呼び込みの一役を担っています。

わがまち紹介川柳

先人の

思いをつなぐ

大通り

山口県周南市

徳山駅前周辺地区

- ・ 戦災復興土地区画整理事業で基盤整備
- ・ 山陽新幹線と山陽本線が同じ駅に停車
- ・ 徳山駅から50mの緑豊かな広幅員道路
- ・ 生活に必要な機能が徒歩圏内で集約
- ・ まちなかに動物園が立地
- ・ かつては県内随一の商業・業務地
- ・ 郊外の大規模店等により、中心市街地が衰退

状況写真



徳山駅周辺の航空写真

東西に山陽新幹線、山陽本線が走り、徳山駅から山側に向かって、区画整理による碁盤目状の市街地が形成されています。



徳山駅前から御幸通を望む

徳山駅から緑豊かな御幸通が整備されています。手前の駅前広場、ロータリーは、今年度完成予定です。



徳山駅前賑わい交流施設

徳山駅前に賑わいの拠点として平成30年2月にオープン。開館1年間で目標を大きく上回る200万人が来館しました。今後は、商店街への波及効果が期待されます。